

「ランピースキン病」の発生リスクが高まっています

対策の継続的な取り組みをお願いします！

これから暖かくなるにつれ、感染の原因となる吸血昆虫の活動が活発になることから、発生リスクが高まります。

感染が拡大すると出荷自粛等、経済的な影響が大きくなります。

発生予防の対策と、病気の伝播を防ぐ対策として以下の3つのポイントについて継続的な実施をお願いします。

対策ポイント①

✓ 毎日の健康観察と疑い事例が確認された場合の早期通報

疑われる牛は隔離、すぐに獣医師や家畜保健衛生所に相談



皮膚の結節

※ 泌乳量の低下、発熱、鼻汁、リンパ節の腫大などもみられます

対策ポイント②

✓ 人による感染拡大防止

特に獣医師、人工授精師等、牛に直接触れる人の対策の徹底

➤ 農場ごとに衣服、長靴（ブーツカバー）交換

➤ 注射針、人工授精用器具等は一頭ごとに交換又は消毒

➤ 聴診器等、皮膚に接触する器具の消毒

対策ポイント③

✓ 吸血昆虫対策（主にサシバエ対策）

幼虫対策は、堆肥化処理とIGR剤の散布

※九州農政局資料を一部改変



堆肥の切り返しは
隅々まで！



牛舎隅など牛が踏まない・糞の取り残しがある場所、
カーペンなど子牛のいる牛床にIGR剤を散布！



つなぎ牛舎は
バーンクリーナーへ散布！

成虫対策は、防虫ネットや殺虫剤ローテーションで

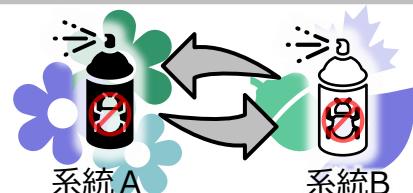
※九州農政局資料を一部改変



地面や床から2 mは防虫ネットで覆え
るようにしましょう！隙間や穴がないか確
認を！牛舎周辺の下草刈も実施！



殺虫剤は
サシバエが飛ぶより
上を狙って噴霧！



殺虫剤はローテーションを！
噴霧量が十分か確認！

車両がウイルスを運ばないために

➤ 農場に出入りする**全ての車両**は**洗浄・消毒、殺虫**を徹底！

➤ **車内に入り込んだサシバエ等**も、確実に殺虫！

特に寒い時期、サシバエ等は
温かい車両に集まりやすく、
車内にも侵入します

資材（牧草ロールや敷料など）
にもサシバエ等が入り込む可
能性があるので、搬入時確認！



車体に
集まったハエ

中央家畜保健衛生所 TEL0957-25-1331

五島家畜保健衛生所 TEL0959-72-3379

県南家畜保健衛生所 TEL0957-68-1177

壱岐家畜保健衛生所 TEL0920-45-3031

県北家畜保健衛生所 TEL0956-48-3831

対馬家畜保健衛生所 TEL0920-54-2179

異状発見時は直ちに最寄りの家畜保健衛生所へご連絡ください。休日・夜間もつながります。